

調査速報

タイ自動車市場月次統計（2016年10月）

国王薨去に伴う内需減少を輸出増産でカバーしきれず、減産トレンドが継続

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2016年10月国内生産台数(季調値)は前月比3.0%減の年率188.4万台。16暦年の200万台回復は難しい。
- 2016年の国内販売台数は75万台程度と4年連続の前年割れを見込む。
- 景気に左右されにくい貨物車・バス(ピックアップトラックとSUVを除く商用車)の販売は回復基調。

国内生産の基調は下向いたまま

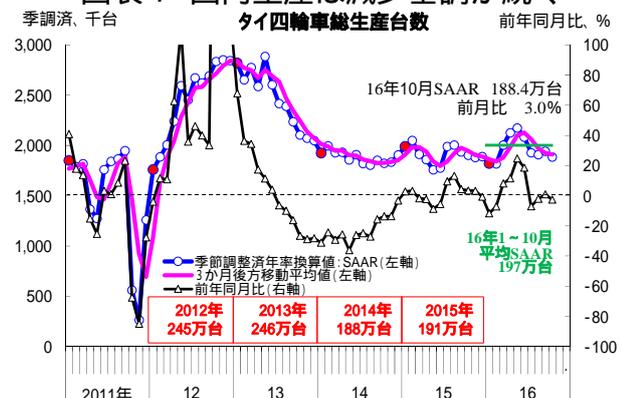
タイ工業連盟 (Federation of Thai Industries) が発表した2016年10月の四輪車総生産台数は、前年同月比2.6%減と前年割れし、季節調整済年率換算値(当社試算、以下 SAAR)も前月比3.0%減の188.4万台と4か月ぶりに増加した9月から一転し、10月は再び減少に転じた。3か月後方移動平均値でみたトレンドは7月以降、減少基調が続いている(図表1)。10月13日のタイ・プミポン国王薨去に伴う、消費マインドの低下や販促活動の自粛により、10月の国内販売が減速したことが減産の背景にある。16年1~10月の生産台数の平均 SAAR は197万台と、引き続き前年実績191万台を上回っているものの、国内販売の停滞が生産の足かせになる公算であり、16暦年の生産台数が200万台に回復するのは厳しい状況である。

10月の総輸出台数は前年同月比7.2%減と4か月連続で前年割れとなったが、SAARは前月比10.7%増の121.9万台と5か月ぶりに増加した(図表2)。原油及び資源価格の下落を起因とした中近東及びアフリカでの景気悪化と南米の景気低迷が、引き続きタイの自動車輸出に強い逆風となっているが、10月は国内販売の減少を和らげるために輸出生産を強めたものと考えられる。16年1~10月の輸出台数の平均 SAAR は120万台と前年実績と同水準となっているが、マクロ景気が低迷する中、16暦年の輸出台数が120万台を超えることを期待するのは難しい状況だ。

10月の国内販売台数は前年同月比10.7%減と3か月ぶりに前年比マイナスに転じ、SAARも前月比5.2%減の74.2万台と3か月連続で減少した(図表3)。国内販売の SAAR が70万台前半にまで落ち込んだのは本年2月以来のことである。なお、直近10月の販売台数は国王薨去前の受注をベースとしていることもあり、11月の販売台数は10月の水準をさらに下回る可能性が考えられ、予断を許さない状況である。加えて、10月の消費者信頼感指数は4か月ぶりに下落しており、消費ムードの減退は目先、国内販売の大きな足かせ要因のひとつとなる(図表4)。16年1~10月の国内販売の平均 SAAR は77万台と15暦年実績(80万台)を下回っている。本年残すところ2か月となるがその差はさらに拡大し、16暦年販売台数は75万台程度にとどまると予想する。

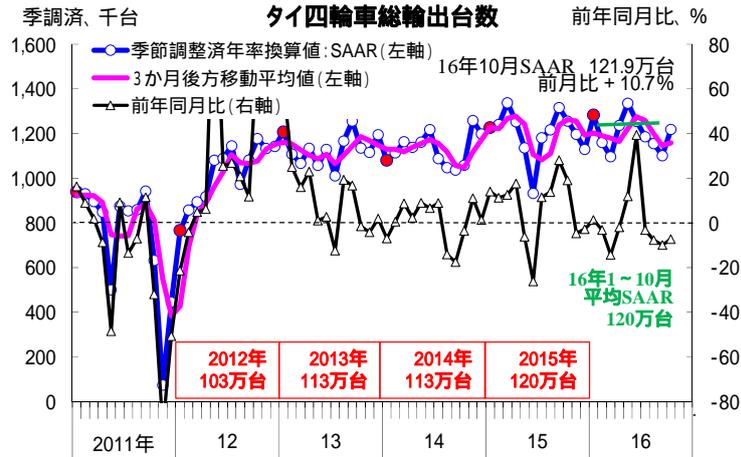
国内販売の中身を見ると、消費動向に左右されにくい貨物車・バス(ピックアップトラックとSUVを除く商用車)の販売は回復基調が続いている(図表5)。タイ政府によるインフラ投資など、政府支出の拡大が資本財である貨物車の需要を牽引していると考えられる。今後は、自粛ムードが後退し、5年前にインラック政権によるFirst Car Buyer Programme(初回購入者に一部税還付する自動車購入奨励策)で購入された車の買い替え需要が、国内販売を持ち上げるかどうか注目点となる。

図表1 国内生産は減少基調が続く



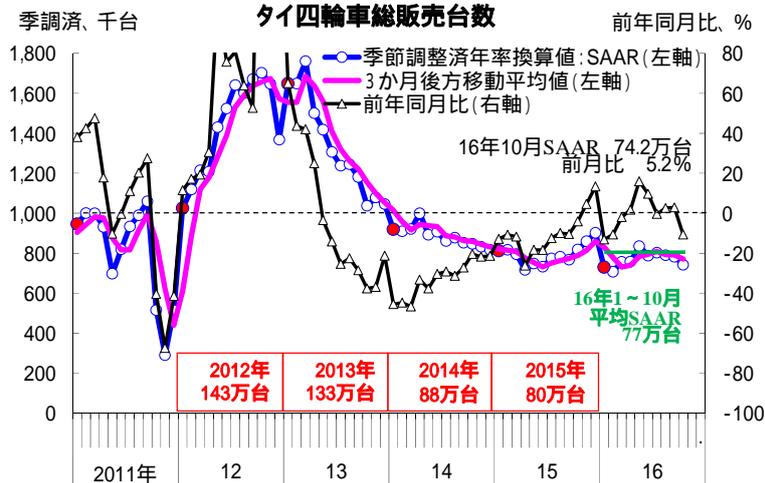
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表2 輸出台数 (SAAR) は前月比で増加



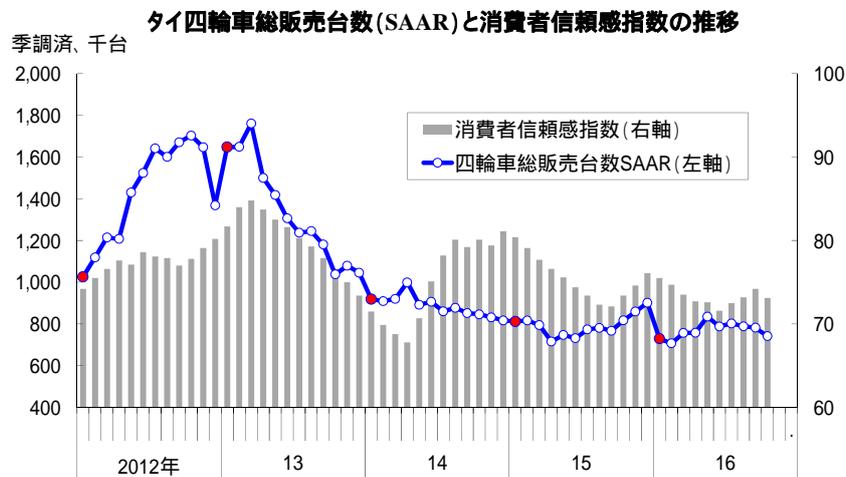
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表3 国内販売 (SAAR) 70万台前半に落ち込んだ



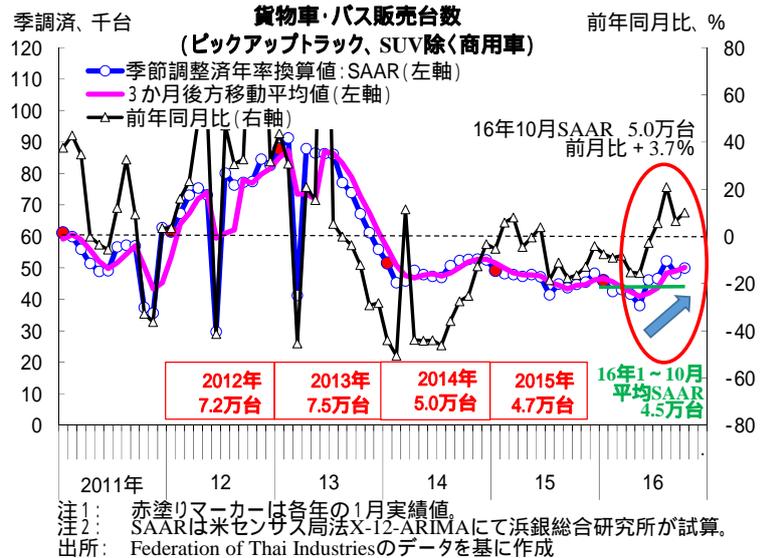
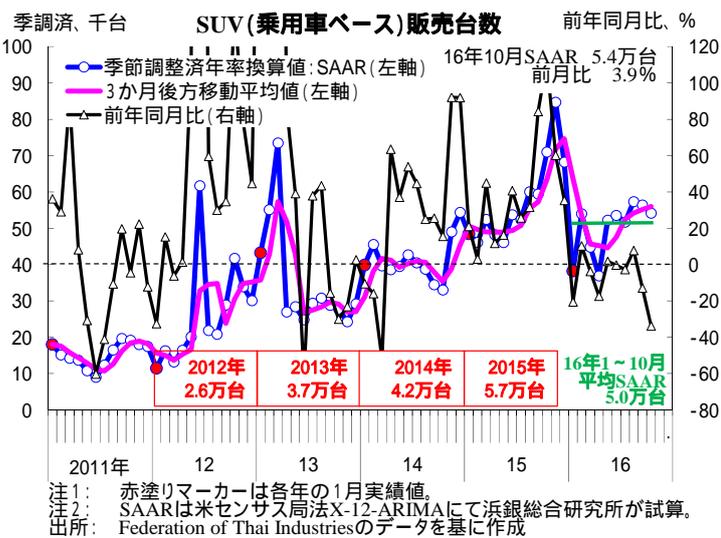
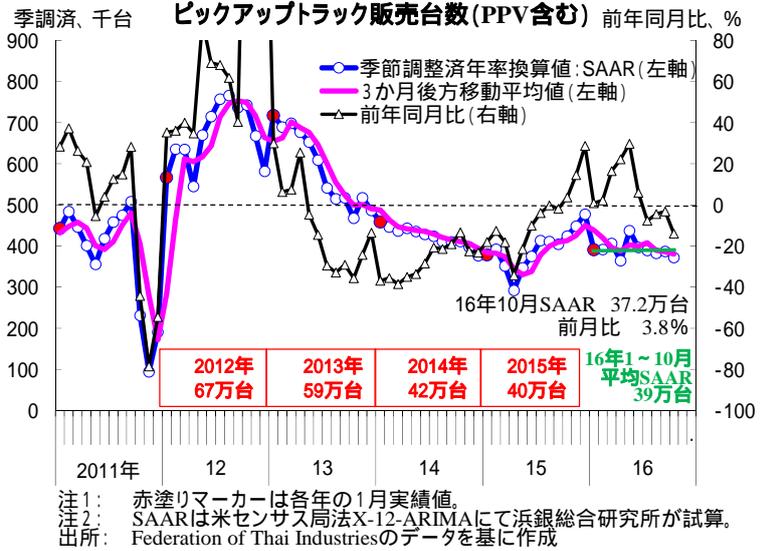
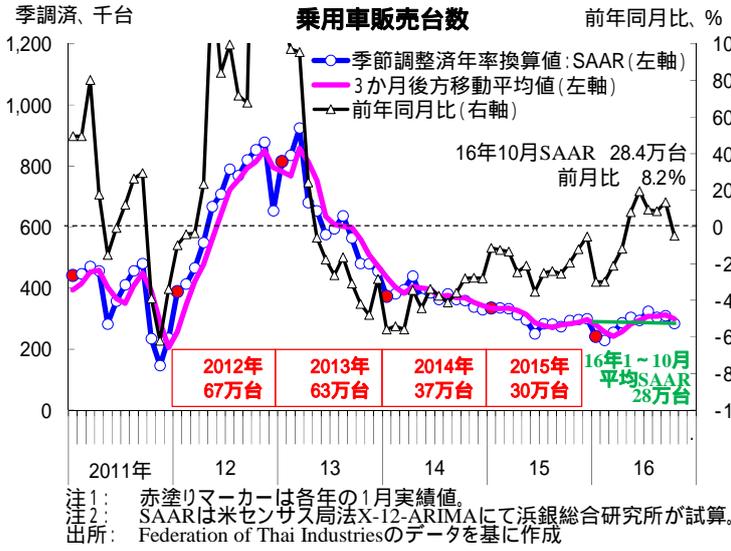
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表4 消費者信頼感指数は4か月ぶりに下落



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Federation of Thai Industries, University of the Thai Chamber of Commerceのデータを基に作成

図表5 貨物車・バスの販売は回復基調が続く



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。